

平成23年度 行方市立行方小学校教育プラン

本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

本校の教育目標

心豊かでたくましく、
自ら学び自ら考え、
実践力のある児童を育てる

夢に向かって、
たくましく生きる
行方っ子の育成

行方市の教育目標

- 文化や科学技術など先人の業績を正しく学び、国際社会に生きる教養を身につけ、豊かに生きようとする心を培う。
- 運動に親しみ、進んで体力作りを行い、たくましい心をつちかう。
- 郷土を愛し、共に助け合って生きる思いやりの心と社会性を身につけ、広い視野で明るい未来を築こうとする心を育てる。

めざす学校像

- 明るくきれいな学校
- 楽しく学べる学校
- 元気で活気のある学校
- 信頼される学校

めざす児童像

- 自ら考え学び合う子ども(確かな学力)
- 思いやりのある子ども(豊かな心)
- 健康でねばり強い子ども(たくましい身体)

めざす教師像

- 明るく笑顔のある教師
- 授業で勝負する教師
- 自ら研修に励む教師
- 人間性豊かな教師

学校経営の方針

一人一人の児童が自分らしく輝くことのできる学校を目指す～

- (1) 県、市教育委員会の指導方針に則り、本校の伝統ある実績を基盤として、児童・学校・地域の実態に即した教育課程を編成し、教育目標の具現化を図る。
- (2) 基礎・基本の確実な定着を図り、自ら課題を見付け積極的に活動する児童の育成に努める。
- (3) 体験的な学習や勤労奉仕活動等を通して、学ぶ楽しさを体験させると共に、心の教育の充実に努める。
- (4) 教職員としての使命を自覚し、積極的に自己研修・共同研修の充実に努め、専門職としての力量を高める。
- (5) 家庭や地域、関係諸機関等との連携を深め、信頼される開かれた学校づくりに努める。

研修の方向性

- 算数科研究から教育活動全体に「児童一人一人の主體的な活動を重視し、自ら解決する態度を育てる」
- 自己申告書による資質向上・指導力の向上「組織目標」を踏まえ、課題を明確にした自己申告書による実践・評価

○いつでも相談できる雰囲気

○何度でも挑戦

○外部研修会の成果を共有

確かな学力

- 日々の授業の計画と実践(指導案の協議と授業参観)
- 問題解決学習と伝え合う活動の導入(授業の基本図作成)
- 指導法の工夫改善(校内授業研究一人年2回)
- 算数の授業研究を通じた校内研修の充実(比較検討の場の充実)
- 個に応じた指導と基礎・基本の定着(月例テストの実施)
- 発展的な学習(全国調査B問題の実施)
- 外国語活動の充実(ALTの毎時間活用)
- 特別支援教育の充実(外部講師による研修年2回)

思いやりの心

- マナーアップ運動の推進(挨拶、言葉遣い、生活のきまり)(実態調査年3回)
- 道徳の時間の充実(生き方の指導)(実態調査年3回)
- 読書の時間の充実(外部講師による読み聞かせ月1回)
- 勤労活動の推進(奉仕タイム週1回、縦割り清掃毎日実施)
- 異学年、ブロック活動の推進(遠足、運動会等学校行事時に必ず実施)
- 体験活動の推進(農業体験を中心とした活動、外部指導者15時間確保)

健康安全な生活

- 基本的な生活習慣の定着(学期毎のアンケート)
- 体力テストの結果の活用(行方小オリンピックによる記録の掲示)
- 体力づくりの充実(業間運動週1回)
- 安全教育の実践(交通、防犯、災害等)外部指導者年3回以上
- 見回り下校(毎日)と地区巡視(年3回以上)
- 学校保健委員会の充実(委員会の趣旨に基づく保健便り月1回発行)